

# SMC金融・経済マーケットレポート

Reporter Your Financial Brain SMC 豊島 健治

## 一つの試み・一つの手段 (「メール・マガジン」体験記)

2月1日、メール・マガジン1号を配信した。第1号の購読者数は617名となった。この数が客観的に見て多いのか少ないのかは知らないが、私にとってはビックリする購読者数だった。こんなに沢山の人が購読を申し込んでくれた、そう思ったのだ。先月後半に行ったこの実験的試みを、中小企業が使える一つの手段となるのではないかとこの視点で皆様にお伝えしたい。

電子メールを使った情報誌、メール・マガジン(以下メルマガと略記)を直訳すればそうなると思うが、このメルマガの存在を知ったのは3年くらい前のことだった。情報を発信している者の常として、私にもより多くの人に読んで貰いたいという願望がある。その方法の一つとしてメルマガがあることを知ったのである。インターネットでその世界を覗き込むと、様々なジャンルで多種多様な情報誌が発行されていた。そして面白そうな情報誌を幾つか購読してみたりして、メルマガそのものは私にとってはある程度馴染みのある世界となっていた。そんなことから、自分もいつかはメルマガを発行してみようと考えてはいた。考えてはいたが、面倒が先にたって実現せずにいた。

それをやろうと本気で思ったのは、先月の中旬過ぎであった。契機は二つあった。一つは、昨年11月下旬に開いた私設ホームページである。96年から書き連ねてきたこのレポートをネット上に貼り付けようと思い、市販のパッケージ・ソフトを買って来てチャレンジしたら意外なほど簡単にホームページが出来た。ホームページ開設はメルマガ発行の前提条件となっていて、それがクリア出来たことがあった。

もう一つは、私と同じ中高年の方が「頑張り社長！」というメルマガを発信しているのを知ったことがある。この情報誌は購読者数が5千名近くに達していた。購読してみるとなかなか面白い。私には彼のような真似は出来ない(その方は毎日発行している)が、過去に書いたレポートをメール・マガジン用に修正すれば、それほど時間をかけず発行できる。若しかすれば関心のある人が読んでくれるのではないかと、そう考えたのである。

メルマガを読んでくれる人が増えれば、私の仕

事に寄与する可能性も出てくるし、交流の領域が広がることも考えられる。それに要する時間が若干増えたとしても直接的なコストは電話代程度、よしやってみようと思って取り掛かったのが先月の20日。メルマガ発行最大手である「まぐまぐ」のホームページにアクセスして発行要領を調べ、その手順に従って発行登録の申請をその日の内に済ませることが出来た。申請を終えると「まぐまぐ」から、簡単な審査があるので登録は1週間後になるとのメールが届く。実際「まぐまぐ」のホームページに私のメルマガが発行される旨の登録がされたのは27日だった。その日から購読登録数(購読申込)のカウントが始まった。

初日286名、翌日161名、3日目69名と何と3日間で登録数が500名を突破した。これには正直云って驚いた。100名程度のスタートを考えていたからである。改めて「まぐまぐ」の威力、そしてメールの世界の膨らみを感じた。その後知ったのだが、「まぐまぐ」を通じて発行されるメルマガは実に3百数十万部に達している。どんな人が登録するかも知れない百鬼夜行の世界とは云え「これは使える」と思えたのである。

どんな企業や経営者にも余人には知り難いそれぞれの想いや考え方があろうと思う。次代に伝承したい技術もあるかも知れない。しかしそれを多くの人、しかも関心のある人に伝えるのは中々難しい。その想いや考え等を発信する場としてメルマガを利用できるのではないだろうか。勿論これが直ちにビジネスに繋がり売上増に寄与する等という考えには無理がある。時間の無駄となるかもしれない。ただ「可能性の領域」が広がることはあるのではないだろうか。

2月1日、617名の登録者でスタートした私のメルマガは、今後どのような道を辿るのだろうか。それは私にも判らない一つの試みである。

### § ご案内 §

かつて送信したレポートと重複しますが、メール・マガジン版「中小企業と銀行取引」の購読申込みを希望する方は、下記アドレスにアクセスして「登録」して下さい。

「まぐまぐ」 <http://www.mag2.com>

「SMC」 [http://www.hi-ho.ne.jp/smc\\_toyo/](http://www.hi-ho.ne.jp/smc_toyo/)

尚、「まぐまぐ」上での分類は「企業・ビジネス > 経営心得」です。

Weekly Fax Report

2001.2.3(第243号)

《複製・転載等はこちらご連絡下さい》

TEL. 0438-53-6092 FAX. 0438-53-6096

URL: [http://www.hi-ho.ne.jp/smc\\_toyo/](http://www.hi-ho.ne.jp/smc_toyo/)

Email: [smc\\_toyo@hi-ho.ne.jp](mailto:smc_toyo@hi-ho.ne.jp)